

看護部

1. 看護部理念

「私たちは、患者さんの立場に立ち 思いやりのある看護を提供します」

基本方針

- 1) 自分で考え、行動できる人材を育成する
- 2) 安全・安心な看護サービスを提供する
- 3) 経営に参画し、病院組織の一員として役割を遂行する



2. 令和4年度看護部目標（別表1）

- 1) 地域のニーズに対応した看護を実践し組織に貢献する
- 2) 専門職としての意識を高め、自立して看護を実践する
- 3) 働き続けられる職場環境をつくる

3. 看護部運営概要について

副看護部長と地域連携支援部内に主任看護師（マネジャー）を各1名増員しました。増員した副看護部長は、質管理担当として活動しています。主にベッドコントロールと看護職員の応援体制を行います。一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟と機能の違う病棟を効率的、安定的に活用することにより、入院患者が必要な時に必要な治療・ケアを受けることができます。また応援体制により、必要な部署への人員配置は看護の質の担保とともに職員の知識・技術の向上につなげたいと思います。他部署の理解によりスムーズな連携も可能になります。新型コロナウイルスのクラスター発生や大雪による出勤困難者のために出勤者の不均衡を是正してきました。

入院支援と退院支援を統合し地域連携支援部内設置し、入退院支援に主任看護師を新たに配置しました。入院前から退院後までの支援がスムーズで充実した体制となりました。

キャリアラダーの導入により、専門職業人としての看護職員個人の成長とそれを支える組織の支援体制がほぼ整い、次年度より申請と認定を進めます。認定看護師や特定行為研修教育機関（日本看護協会や新潟大学など）より実習協力病院として他施設の看護職員の実習を受入れました。他施設の職員との交流により自身のキャリア形成を考える機会とした職員もいました。

医師・看護職の働き方改革に向けて、看護介護補助者を増員し、タスクシフト・タスクシェア内容を見直しました。看護介護補助者の夜間配置や看護補助者の活用のための学習を行い、お互いの役割を理解し協働を進めています。今後も地域のニーズに応えるために、多職種と協働し、医療・看護の質向上のために努めてまいります。

令和4年度 看護部目標 年度末評価

別表1

柏崎総合医療センター

令和5年3月

目標・具体的実践内容	具体的実践結果	評価・課題
<p>1. 地域ニーズに対応した看護の実践と組織貢献</p> <p>1) 看護の質を保ち、各病棟機能を効率的・安定的に活用し、ベッド利用数を増加する</p> <p>①有効なベッドコントロール</p> <p>②応援体制の構築</p>	<p>1-1) ①②</p> <p>平均入院患者数 4月275名, 5月268名, 6月282名, 7月273名, 8月286名, 9月290名, 10月267名, 11月283名, 12月254名, 1月270名, 2月276名, 前期平均279名, 後期平均270名, 年間平均275名</p> <p>各部署の目標と課題の対策を実施した。質管理担当副看護部長がカンファレンスに介入、応援や異動時期の調整を実施。</p> <p>年間平均入院患者数目標に対する達成率は、東3 93%, 西3 91%, 東4 72%, 西4 98%, 東5 91%, 西5 91%, 西6 89%, 合計 92%</p>	<p>1-1) 目標未達</p> <p>目標300名以上に対し-25名。前年度比+18だが目標に達しなかった。例年患者数が増加する後期にCOVID-19院内クラスターが発生し病棟閉鎖、受け入れ制限に陥ったことが入院患者数未達の一つの要因である。クラスター回避が課題となる。院内クラスター、大雪による危機的状況乗り越えるため診療科を超えた入院受入れ、人的ニーズへの対応は職員の団結機会となった。</p>
<p>2. 専門職として意識を高め、自律して看護を実践</p> <p>1) キャリアラダーを活用し、人材を育成する</p> <p>①ラダーと教育計画の連動</p> <p>②申請方法・評価方法の具体的な決定</p> <p>③マネジメント研修</p> <p>2) 認知症看護実践力を向上する</p> <p>①身体拘束0に向けた取り組みの定着</p> <p>②認知症ケアサポートチーム(DST)の立ち上げ</p> <p>③看護倫理研修</p>	<p>2-1) 〈師長会1G〉</p> <p>①②本部の実践報告化やキャリアラダー検討委員との懇談を経て完成した。</p> <p>次年度より申請、評価、認定の具体的なスケジュールも決定した。</p> <p>③研修11名、フォローアップ研修10名が受講した。部署のコアメンバーとして取り組む課題を明らかにすることができた。</p> <p>2-2) 〈師長会2G〉</p> <p>①せん妄に関する説明パンフレット作成と90%の活用。看護計画立案93%に増加。せん妄出現時のフロア間の応援体制3件。ガイドラインやスケールの活用、ラウンドにより各部署の取り組みの確認やアドバイスを得ることができた。</p> <p>②ワーキンググループ立上げ準備中。</p> <p>③身体拘束体験から倫理的問題の検討。</p>	<p>2-1) 〈師長会1G評価〉 目標達成</p> <p>①②計画から大幅に遅れたが申請に向けた準備が整った。初回の申請対象者を2年目看護師と主任にしほり開始する。実践を通し見直しを行う。</p> <p>③次年度よりキャリアラダーⅢを目指す者を対象とした研修とする。研修受講の申請方法の検討が必要。</p> <p>2-2) 〈師長会2G評価〉</p> <p>①目標達成 それぞれの活動に効果がみられている。他部署、多職種と協働をより強化し、結果に繋げる。</p> <p>②目標未達 必要性の理解や具体的方法の周知を図る。</p> <p>③目標達成 体験を通し患者理解が進み、検討シートの活用で多角的に倫理問題をとらえることができた。</p>
<p>3. 働き続けられる職場づくり</p> <p>1) タスクシェア・タスクシフトにより、安全に業務を効率化する</p> <p>①看護・介護補助者の活用</p> <p>②他職種との連携・協働を推進</p> <p>③看護補助員加算等を得</p> <p>2) 働きやすい職場環境への取り組み</p> <p>①看護部投書箱の有効活用</p> <p>②5S活動(ラウンド)</p> <p>③全体の超勤時間削減と部署間の超勤格差を減らす</p>	<p>3-1) 〈師長会3G〉</p> <p>①タスクシェア、タスクシフト内容の洗い出しを行い、タイムテーブルを見直した。</p> <p>②グループとして具体的な実践活動なし。</p> <p>③新たに7月から夜間急性期看護補助体制加算(100対1)、10月から看護補助体制充実加算取得。</p> <p>3-2)</p> <p>①投書3件に対し個別の対応を実施。職務満足度調査に意見が寄せられた。</p> <p>②計画通り全部署、ラウンドと結果の共有を実施した。全部署で改善が見られた。</p> <p>③全体の超勤、月1,623時間~2,536時間。欠席者、入院患者数、手術件数、介護度などを考慮した応援体制を実施した。</p>	<p>3-1) 〈師長会3G評価〉</p> <p>①目標達成 多様な働き方の職員を受入れる体制を構築する。</p> <p>②目標未達 活動計画を見直す。</p> <p>③目標達成 増収に繋がった。効果的なタスクシェアを目指す。</p> <p>3-2) 目標達成 継続が必要。</p> <p>①職員満足度調査に挙げられた意見を拾い出し分析と対策を検討する。</p> <p>②現在も取り組みは継続している。</p> <p>③増減あり全体の超勤の減少とは読み取れないが、一定の部署に超勤が偏ることはない。他の活動と合わせ取り組みを継続する。</p>

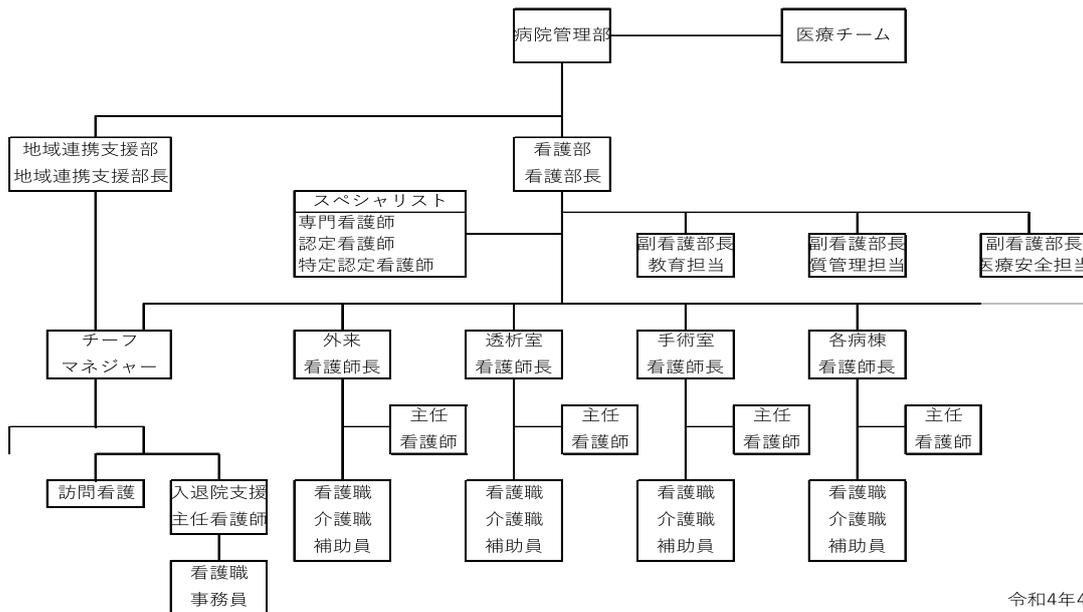
4. 看護職員動向について

令和4（2022年）年度4月の看護職員数は、342名（保健師18名、助産師16名、看護師254名、准看護師7名、介護福祉士21名、看護介護補助員26名）でスタートしました。令和4年度の看護職正職員採用者数は30名（新卒者23名、中途採用者7名）、退職者数は22名、転入者1名、転出者4名でした。退職者22名の理由として、進学やキャリアアップを目的とした他施設への転職が約3割。また、育児などで雇用変更者が14%、入籍に伴う転居が14%、病気による退職が27%と増加しています。

5. 令和4年度看護部管理者

役職名	氏名	役職名	氏名
看護部長	金 泉 まゆみ		
副看護部長 教育担当	池 野 美奈子	副看護部長 質管理担当	石 橋 朋 子
医療安全管理者/ 副看護部長	矢 嶋 真由美		
地域連携支援部 チーフマネジャー	高 桑 奈美子	外来師長	北 村 貴 子
透析室師長	樫 出 芳 子	手術室師長	行 田 由 香
東3階病棟師長	村 松 千代子	西3階病棟師長	今 井 良 子
東4階病棟師長	小笠原 直 美	西4階病棟師長	下 條 英 子
東5階病棟師長	山 田 明 子	西5階病棟師長	小 関 浩 子
東6階病棟師長	綱 島 泰 子	西6階病棟師長	横 関 泰 江

看護部組織図



令和4年4月1日

6. 専門看護師・認定看護師・認定看護管理者

専門・認定看護分野	氏名	修了年度
がん看護専門看護師	横 関 泰 江	平成28年度
皮膚・排泄ケア認定看護師	中 村 文 枝	平成20年度
救急看護認定看護師	春 川 一 樹	平成25年度
感染管理認定看護師	徳 原 伸 子	平成26年度
認定看護管理者	金 泉 まゆみ	令和3年度
糖尿病看護認定看護師	小 林 美和子	令和4年度
認知症看護認定看護師	島 田 美 樹	令和4年度

7. 特定行為研修修了者

氏名	修了年度	修了区分
徳 原 伸 子	令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 感染に係る薬剤投与関連 ・ 栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)
小 林 美和子	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
島 田 美 樹	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

8. 令和4年度 修士課程修了者

氏名	修了区分
行 田 由 香	修士 (医療福祉学研究科 災害医療学)
春 川 一 樹	修士 (医療福祉学研究科 災害医療学)

資格取得者及び研修修了者を活用し、院内はもちろん地域へも看護の専門性を発揮できる機会を拡大していきたいと考えております。

9. 院内・院外発表

【院外発表】

1. 皮膚排泄ケア認定看護師 中村 文枝、感染管理特定認定看護師 徳原 伸子
令和4年11月8日、9日 第53回 日本看護学会学術集会 ポスター発表
「医療安全における複合的教育キャンペーンが看護師にもたらす効果（最終報告）
—実践に繋がるか—」
2. 認定看護管理者 金泉 まゆみ、医療安全管理者 矢嶋 真由美
令和4年7月12日
新潟県看護職員認知症対応力向上ステップアップ事業報告会（報告発表）Zoom開催
3. 西6階病棟 ○矢部 史恵、渡邊 将規、佐藤 なな、北村 貴子
環境整備シミュレーション教育が看護師の行動変容に及ぼす効果
—質問紙調査を実施しての一考察—
令和4年10月29日（土）動画配信 厚生連看護研究発表会

【院内看護研究発表会】

令和5年3月17日（金）～3月28日（火）Web開催（動画視聴期間）

1. 地域連携支援部 ○鈴木 梢、武田 文子、高桑 奈美子
意思決定が困難な状況下における退院支援
—B氏とB氏の意思を推定し尊重したC氏への支援過程を振り返って—
2. 外来 ○林 幸恵、梨本 紗矢香、若月 克江、北村 貴子
タイムマネジメントを意識した外来応援体制の現状調査
3. 東3階病棟 ○品川 典子、星野 ユリ子、小川 遥、村松 千代子
赤ちゃん人形の抱っこやあやしを体験したことでおこる産後の赤ちゃんへの肯定的感情の
変化 ～産前に抱っこ体験を行った2事例より～

【院内集談会発表】

1. 認定看護管理者 金泉 まゆみ
「看護職員認知症対応力向上ステップアップ事業報告」
令和4年11月22日

令和4年度 新人看護師入職時研修プログラム 実績

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	参加者
4/2 (土)	8:30 } 9:00	看護部の紹介	看護部についての理解を深める	1. 看護部の組織について理解できる 2. 看護部理念、目指す看護師について理解できる	看護部長	23名
	9:00 } 10:00	専門職業人としての心構え	専門職業人としての意識を持ち、看護に臨むことができる	1. すべての看護実践は、看護の倫理綱領に基づくことを知る 2. 「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「看護実践における管理的側面」で求められる項目を知る 3. 専門職業人として、継続学習の必要性がわかる	副看護部長	23名
	10:10 } 11:10	研修の概要	新人看護師研修の必要性を理解し、今後積極的に参加することができる	1. 新人看護職員研修の概要を知る 2. 新人研修ファイルの活用方法がわかる	教育委員会： 師長 主任	23名
	11:20 } 12:00	オリエンテーション	配置部署の特徴を知る 配置部署のスタッフに挨拶ができる 入職者健診の採血を各部署で行う（Tスポット採血も実施する）		看護師長	23名
	13:00 } 13:30	看護必要度	看護必要度を評価する必要性がわかる	1. 当院の看護体制と必要度を知る 2. 必要度の評価項目と評価基準を知る	看護必要度委員会：	23名
	13:30 } 14:00	ナーシングスキル	看護技術におけるナーシングスキルの活用方法について学ぶ	1. ナーシングスキルへのログインが実践できる ナーシングスキルの利用方法がわかる	基準手順委員会：	23名
	14:30 } 17:00	入職者健診				23名
4/5 (火)	8:30 } 9:30	安全管理	看護職における医療安全対策の必要性を理解することができる	1. 医療安全の意義を理解する 2. 人間特性を理解し自分も間違える存在であることを自覚する 3. インシデント報告の必要性を理解する	医療安全管理者：	23名
	9:30 } 12:00	与薬（経口）	安全で確実な与薬業務に必要な知識を得ることができる	1. 当院の薬袋と処方箋の確認方法が説明できる 2. 6Rに沿って安全な与薬業務の演習ができる 処方から与薬までの業務を理解し、インシデントにつながる業務であることに気づくことができる	医療安全対策委員会：	23名
	13:00 } 17:00	感染防止	標準予防策について学び、これからの看護実践に必要な感染対策の知識を身につける	1. 手指衛生の5momentsが理解できる 2. 個人防護具の必要性を知り、正しい着脱方法を体験できる 3. 環境整備の必要性を知る 4. 医療廃棄物の分別方法が説明できる 5. 針刺し・切創事故の危険性を知る 6. 感染経路を知り、経路別予防策のポイントを理解する 7. N95マスクを正しく装着できる	感染委員会： 感染管理認定看護師： 徳原看護師	23名
4/6 (水)	8:30 } 12:00	看護記録	看護記録の概要と電子カルテの取り扱い方法が理解できる	1. 看護記録の概念が説明できる 2. 看護記録の必要性が説明できる 3. 電子カルテから必要な情報収集の方法がわかる	記録委員会：	23名
	13:00 } 17:00	褥瘡予防の基本	褥瘡発生のメカニズムを知り、日々の看護に予防の視点を持ってあたる事ができる	（褥瘡予防の基本） 褥瘡予防の基本がわかり、臨床で実践できる	褥瘡委員会：	23名
	13:00 } 17:00	体位変換・オムツ交換	基本的な体位変換・オムツ交換の知識、技術を身につけることができる	（体位変換） 臥床患者の体位変換が出来る （おむつ交換） 臥床患者のオムツ交換ができる	皮膚排泄認定看護師： 中村看護師	23名

月日	時間	研修項目	目的	目標	担当	参加者
4/7 (木)	8:30 ～ 12:00	シャドー 研修	配置部署の業務を知り、リアリティを体感する	1. 病棟の雰囲気を感じ取る 2. 体位変換、オムツ交換を見学する 3. 車椅子移乗、移送を見学する	プリセプター	23名
	13:00 ～ 17:00	患者観察の 基本	1. 視診・触診・聴診による患者観察の方法を知る 2. 患者の変化する状態(急変)の前駆症状を効果的に発見できる観察方法を習得する	1. 視診と触診により、呼吸数・脈拍数を測定することができる 2. 呼吸音を聴取することができる 3. GCSを用いて、意識レベルを評価することができる 4. 系統立てた患者観察を実践することができる	救急委員会 救急認定看護師： 春川看護師	23名
4/8 (金)	8:30 ～ 12:00	皮下・筋肉 注射	ガイドラインに沿った皮下・筋肉注射の方法が理解できる	1. 皮下・筋肉注射の目的がわかる 2. 皮下・筋肉注射の注射部位がわかる 3. 皮下・筋肉注射のリスク、身体への侵襲がわかる 4. 針刺し事故防止の行動がとれる 5. シミュレーターを使用して皮下・筋肉注射が実施できる 6. 薬液の吸い上げができる	基準・手順委員会：	23名
	13:30 ～ 17:00	シャドー 研修	配属部署で業務を知り、リアリティを体感する	1. 業務の流れを知る 2. 患者の一日の流れを知る 3. カルテからの情報収集を見学する 4. 静脈注射、点滴の準備を見学する 5. 静脈注射、点滴の実施を見学する	プリセプター	23名
4/9 (土)	8:30 ～ 12:00	採血	ガイドラインに沿った採血方法が理解できる	1. 採血の目的が理解できる 2. 採血管の種類や採血後の採血管の取り扱いが理解できる 3. 採血部位が理解できる 4. 採血によるリスク、身体への侵襲が理解できる 5. 確実な止血の方法が理解できる 6. シミュレーターを使用して採血が実施できる	教育委員会：	23名
	13:00 ～ 17:00	静脈注射・ 点滴	ガイドラインに沿った静脈注射、点滴の方法が理解できる	1. 静脈注射、点滴の目的が理解できる 2. 静脈注射、点滴部位が理解できる 3. 静脈注射、点滴によるリスク、身体への侵襲が理解できる 4. シミュレーターで静脈注射、点滴が実施出来る 5. 点滴施行中患者の観察や管理方法が理解できる	教育委員会：	23名

柏崎総合医療センター看護部 教育委員会 新人教育担当

令和4年度 柏崎総合医療センター看護部教育プログラム（実績）

2023年3月作成

対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新人研修	4/11 24名 新人入職研修(4/11迄) 25日 24名 救急看護 22日 24名 災害看護 I 5月中 22名 シヤド一研修Ⅱ補助員(分散) 25日 23名 プリセプター研修(集合)	1/7~7/1 24名 医療安全-KYT(分散) 27日 22名 感染対策(集合) 21日 21名 災害看護Ⅱ 28日 23名 振り返り研修①(集合) 31日 22名 (厚)新人研修Zoom	1/7~7/1 24名 医療安全-KYT(分散) 27日 22名 感染対策(集合) 21日 21名 災害看護Ⅱ 28日 23名 振り返り研修①(集合) 31日 22名 (厚)新人研修Zoom	14日 22名 輸血管理(集合) 27日 22名 感染対策(集合) 21日 21名 災害看護Ⅱ 28日 23名 振り返り研修①(集合) 31日 22名 (厚)新人研修Zoom	31日 24名 梅毒対策(集合・分散) 17日 18名 3年目研修報告(集合) 5日 18名 2年目看護過程の展開(分散)	19~10/9/20 23名 看護記録(分散) 10/14 24名 医療安全対策:事故分析(分散) 8日 23名 振り返り研修②(集合)
レベル1						
レベル2						
レベル3以上						
管理						
介護員						
全体						

対象	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新人研修	17~21 23名 看護診断① 22日 23名 患者急変コース 9月30日~14日 医療安全対策(分散) 10月~2月 院内留学 21名	4~10 25名 看護診断② 11月中 18名 2年目看護過程の展開(部署発表) 14日 23名 プリセプター研修(分散) 10~12月 2・3年目看護技術習得月間(厚)	11月中 18名 2年目看護過程の展開(部署発表) 14日 23名 プリセプター研修(分散) 10~12月 2・3年目看護技術習得月間(厚)	11日 22名 受け持ち看護師 12月中 18名 2年目看護過程の展開(部署発表) 14日 23名 プリセプター研修(分散) 10~12月 2・3年目看護技術習得月間(厚)	8日 21名 1年目研修発表会 9日 1年目研修発表会 1~14 22名 入退院支援研修(分散) 2~24 エンゼルケア 22日 21名 プリセプター研修	8日 9名 プリセプター準備研修① 15日 10名 プリセプター準備研修② 10日 47名 オムツ交換①② 13日 オムツ交換③④ 17~28日 看護研究発表会(病室・中庭)
レベル1						
レベル2						
レベル3以上						
管理						
介護員						
全体						

厚生主権研修 病棟主権研修 師長主権研修 主任主権研修 認定看護師主権研修 看護部委員会主権研修 教育委員会主権研修

令和4年度 研修参加状況

短期・長期研修

主 催	研 修 名	月 日	参加者
新潟県看護協会	認定看護管理者教育過程 「セカンドレベル」	5月18日～7月20日	北村 貴子
	認定看護管理者教育過程 「ファーストレベル」	7月27日～10月14日	古屋 晶 安達 桂子
新潟大学大学院 保健学研究科保健医療 高度専門職教育センター	感染管理認定看護師教育過程（B過程）	7月～令和5年6月	永井 惇美
株式会社 Vitaars	Vitaars第3回特定行為研修 術中麻酔管理領域パッケージ+PICC	10月4日～ 令和5年6月	佐藤 絵梨
医療安全全国共同行動	医療安全管理者 養成研修	7月～10月 (e-ラーニング+ オンライン演習)	行田 由香
日本腎代替療法 医療専門職推進協会	腎代替療法専門指導士認定研修 7/3.7.9.11.16.18.25.31 腎代替療法選択指導に 関する学習カリキュラム Q1～Q18（計20単位）受講	7月3日～31日	吉野 綾子

新潟県看護協会研修

研修項目	研 修 会 名	月 日	参加人数
「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	新潟県委託事業 認知症対応能力向上研修（3日間） （*認知症ケア加算2の施設基準に該当する研修）	8月18日 8月24日 9月15日	1名
ラダーと連動した継続教育	明日からできるがん看護（3日間）	5月9日	1名
	はじめての教育委員	5月20日	2名
	高齢者の尊厳を支える看取り	9月30日	1名
看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	SWOTで現状分析	6月3日	1名
医療安全研修	看護記録と法的責任（アドバンス）	9月9日	1名
	医療安全ネットワーク研修	6月24日 10月28日 2月24日	1名
	医療安全ネットワーク支援研修 医療現場の安全力を高めよう	9月21日	1名
	医療事故調査制度 —体制作りと看護管理者の役割—	12月7日	1名
訪問看護推進事業	訪問看護従事者研修会（管理編） キャリアアップコース 公開講座	4月23日	2名
	訪問看護従事者研修会（新任者編）	5月21日～ 11月19日	1名
	在宅看護（入退院支援）研修会 公開講座	6月11日	1名
	在宅看護（入退院支援）研修会	5月28日 6月11日 10月15日	2名
看護の日事業	「幸せに生きる方法：心理学の実践」	5月12日	3名
看護協会 看護連盟合同	事例から考える看護職の法的責任と対応	6月1日	5名
看護管理者を対象とした研修	専門性の高い看護職員育成にむけた病院管理者研修	8月12日	1名
	看護職員の賃金制度の抜本的見直しに関する勉強会	2月2日	1名
資格認定教育	認定看護管理者教育課程セカンドレベル フォローアップ 実践報告会	12月2日	2名
職能研修	助産師職能研修会 「妊娠期の食育の新常識」	6月15日	1名
	保健師職能研修会 「新任期でもできる！手応えのある保健指導のコツ —行動変容を促すアプローチ—」	6月15日	1名
	看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修 「苦手な人とのコミュニケーションスキルを知ろう」	6月15日	1名
	柏崎支部通常集会 「エンゼルメイクにおける悲嘆ケア遺体感染管理士の立場から」	6月25日	12名
	柏崎支部職能研修会 「スタッフがいきいき仕事をするためには」	11月11日	2名
新潟県主催	新型コロナウイルス感染症対応職員養成事業 軽～中等症患者（自宅療養者）対応研修（オンデマンド研修）」	11月1日～ 8日	3名
	新型コロナウイルス感染症対応職員養成事業 軽～中等症患者（一般病棟・入院待機施設用）対応研修 （オンデマンド研修）」	11月14日～ 令和5年 1月31日	10名

新潟県厚生連研修（オンライン研修）

研修会名	テ ー マ	月 日	参 加 者
教育研修Ⅰ	看護倫理：ともに考えよう看護倫理！	6月11日	4名
教育研修Ⅱ	新人研修：自分の価値に気づこう！	7月31日	新人看護師 22名
教育研修Ⅲ	リーダーシップ研修Ⅰ 貴方らしいリーダーシップを磨こう！	7月2日	2名
教育研修Ⅳ	リーダーシップ研修Ⅱ スタッフ育成にいかすティーチングとコーチング	9月11日	3名
教育研修Ⅴ	介護員研修 ブラッシュアップで介護のスキルを高めよう	10月1日	3名
看護部研究 発表会	ともに学び ともに育つ	10月29日	18名
トピックス 研修	看護研究Ⅱ 研究論文の作成 ～研究成果を論文にまとめよう！～	6月29日 7月14日 (録画)	動画配信 6月29日 20名視聴 7月14日 5名視聴
トピックス 研修	看護研究Ⅰ「研究の絞り込みと計画書」	2月17日 3月1日 (録画)	動画配信 2月17日 22名視聴 3月1日 7名視聴
キャリアラダー 実践報告会	キャリアラダー実践報告会	8月20日	6名
主任研修	看護の質向上を目指した取り組み ～TQMの活用～	9月25日	西 優子・與口 裕美子
師長研修	私たちの看護管理の実践を発表します	2月25日	13名 発表者：檜出 芳子
看護部長 副部長研修	病院ブランドを高める看護組織づくり ～リテンションマネジメントを学ぶ～	8月20日	金泉 まゆみ・矢嶋 真由美 池野 美奈子・石橋 朋子
管理監督者 研修	離職・退職のない職場作り ～育成から人材の定着までの要諦を学ぶ～	11月19日	金泉 まゆみ・矢嶋 真由美 池野 美奈子・石橋 朋子

看護学会

主催	学会名	月日	参加者
日本農村医学会	第71回日本農村医学会新潟地方会	4月16日	金泉 まゆみ
日本創傷オストミー失禁管理学会	第31回日本創傷オストミー失禁管理学会 学術集会	5月20～21日	中村 文枝
日本環境感染学会	第37回日本環境感染学会総会学術集会	6月18日～18日	徳原 伸子
日本母性看護学会	第24回日本母性看護学会	6月27日～7月31日	村松 千代子
日本看護管理学会	第26回日本看護管理学会 学術集会	8月19日～20日	金泉 まゆみ
日本褥瘡学会	第24回日本褥瘡学会学術集会	8月27～28日	中村 文枝
日本放射線事故・災害医学会	第10回日本放射線事故・災害医学会 年次学術集会	9月10日	行田 由香 春川 一樹
日本医療マネジメント学会	日本医療マネジメント学会 第12回新潟県支部学術集会	9月10日	金泉 まゆみ
日本看護評価学会	第12回日本看護評価学会学術集会	9月3日	金泉 まゆみ
日本救急看護学会	第24回日本救急看護学会学術集会	10月14日	春川 一樹
新潟県看護協会	2022年度新潟県看護協会看護学会	11月30日	金泉 まゆみ
日本災害医学会	第28回日本災害医学会 学術総会・学術集会	3月9日～11日	行田 由香 春川 一樹

その他の学会・研修

主 催	テ ー マ	月 日	参 加 者
S-QUE研修会 日本マネジメント 学会	‘22「重症度、医療・看護必要度」評価者 及び院内指導者研修	7月1日～9月30日	11名
S-QUE研修会 全日本病院協会	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修	5月22日 5月30日 6月7日 7月3日 8月9日	8名
原子力安全研究 センター	令和4年度新潟県原子力災害医療基礎研修	9月30日	行田 由香 春川 一樹
一般社団法人 日本腎臓リハビリ テーション学会	第2回腎臓リハビリテーションガイドライン講習会	10月30日	3名
日本医療メディ エーター協会	医療コンフリク・トマネジメントセミナー	10月29、30日 基礎編 11月3日 導入編	矢嶋 真由美
新潟県立 がんセンター	新潟県立がんセンター新潟病院 がん看護研修アドバンスコース 選択コース	1月31日 2月1日 3月1日	村松 静香
新潟大学 医歯学総合病院 肝疾患相談センター	第2回肝炎医療コーディネーター養成研修	2月13日～17日	金泉 まゆみ
新潟DMAT	令和4年度新潟DMATブラッシュアップ研修	2月4日	3名

看護学生 実習受け入れ状況

受け入れ学校名	実習科目	人数(延)
独立行政法人 国立病院機構 新潟病院附属看護学校	成人看護学Ⅱ・Ⅲ	66名
	老年看護学Ⅱ	20名
	母性看護学	35名
	在宅看護学	11名
学校法人 悠久崇徳学園 長岡崇徳大学 看護学部	母性看護学	5名
	小児看護学	14名
	成人看護学Ⅰ	5名
	統合実習	6名
新潟県立看護大学 看護学部	在宅看護学	4名



令和4年度 新人看護職員



令和4年度 看護部長・副看護部長・看護師長



令和4年度 主任看護師